

陽明 攻めて奪冠

陽明	16	17
那覇西	10	13
女子決勝	14	18
那覇西	10	7
男子決勝	20	20
那覇西	10	13

ハンドボール
(沖縄県体育館)

堅守速攻「満点の出来」



女子決勝・陽明ー那覇西 後半10分、陽明の又吉春花が20点目のシュートを決める
＝沖縄県体育館（田嶋正雄撮影）

陽明が、堅守速攻でライバル那覇西を大差で下し、3年ぶりに女王の座に返り咲いた。守りからリズムをつくることを意識。相手ポイントゲッターを抑える守りを徹底した。攻撃では、相手の裏をかいた。持ち味の「1」で得点を重ねた。

年々よくなって、手の内はもう前半にスカイプレーを決めるなど、最多9点を挙げた。古春花主将と、シュートの優勝したので追われるプレッシャーはあったが、楽しかった。守って速攻ができた」と笑顔。

チームを引っ張る又吉主将と意気込んだ。

（安里真巳）

確実に出そうと思った。自分たちのペースでできた」と納得の笑みだった。3月まで監督を務め、チームを育てた佐平政生さんは、ベンチの後ろから試合を見守り、「満点の出来」と、喜んだ。

3月の全国選抜は3回戦で大型選手が並ぶ四天王寺（大阪）に敗退。又吉主将は「きょうみたいにディフェンスを頑張って、リベンジしたい」と意気込んだ。

興南 大勝でV8

男子興南がコザを圧倒、15点差で8連覇を飾った。興南は序盤、決勝独特の雰囲気、ペースがつかめなかったが「ディフェンスをしつかりいこう」と話し合い、少しずつ落ち着きを取り戻した。前半7分、屋比久浩之の4、5点目の得点などでリズムに

ヒーロー

守備立て直しリズム

乗ると、コザを6分間無得点に抑える間に4点を追加して一気に引き離した。エース比嘉成希は「相手のペースを抜けない場面があり反ポイントが分かってから守り省。全国では、もっとパスを取りに行ったり、周りを使えるようにしたい」と話した。

黒島宣昭監督は「ディフェンスと攻守の切り替えをもっと速く」と課題を挙げ、具志堅剛向主将は「ゲームメーカーがいらない。自分が引っ張れるようになって、全国制覇したい」と目標を掲げた。



男子決勝・興南ーコザ 前半18分、興南の比嘉成希が12点目のシュートを決める